

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

2025年8月27日

株式会社グローバルインフォメーション

東京証券取引所スタンダード市場 4171



アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス
5. 株式会社ギブテック

アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス
5. 株式会社ギブテック

会社概要

2025年6月30日現在

社名	株式会社グローバルインフォメーション Global Information, Inc.
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. 市場調査レポートの販売 2. 委託調査の受託 3. 年間情報サービスの販売 4. 国際会議・展示会の代理販売
経営理念	最適な市場情報をタイムリーに提供することにより、お客様の意思決定を支援し、各業界の意義ある活性化に貢献し、ひいては社会の発展に寄与する。社員がひとりひとり責任と誇りを持って満足して働く環境を創出する。
設立	1995年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	175,920千円
従業員数	65名（非正規社員、連結子会社含む）
連結子会社	1社（株式会社ギブテック）
株主数	4,096名

連結子会社 株式会社ギブテック 概要

2025年6月30日現在

社名	株式会社ギブテック（英語表記：Giv-Tech, Inc.）
所在地	川崎市麻生区万福寺 1-2-3 アーシスビル 7階
事業内容	1. LPWAネットワーク機器の製造・販売 2. LPWA通信ネットワークの導入・運用支援サービス 3. 展示会DXツールの販売
設立	2020年1月
代表者	樋口 荘祐
資本金	83,250千円
主要株主	株式会社グローバルインフォメーション

**お客様にとって真に価値のある情報を精査し、
お届けすることが私たちの使命です。**

世界の先端分野の市場動向や技術動向。その最新情報を40年以上お届けしてきました。

当社は世界5か国に拠点を持ち、200社を超える調査会社と代理店契約を締結する市場情報提供会社です。お客様の情報ニーズに的確にお答えする市場調査レポート、カスタム調査の提案を通じ、総合的な情報サービスを提供しています。お客様の意思決定を支援し、事業展開に寄与できる市場情報をタイムリーに提供し、各業界・産業界の活性化に「情報」というフェイズから貢献します。

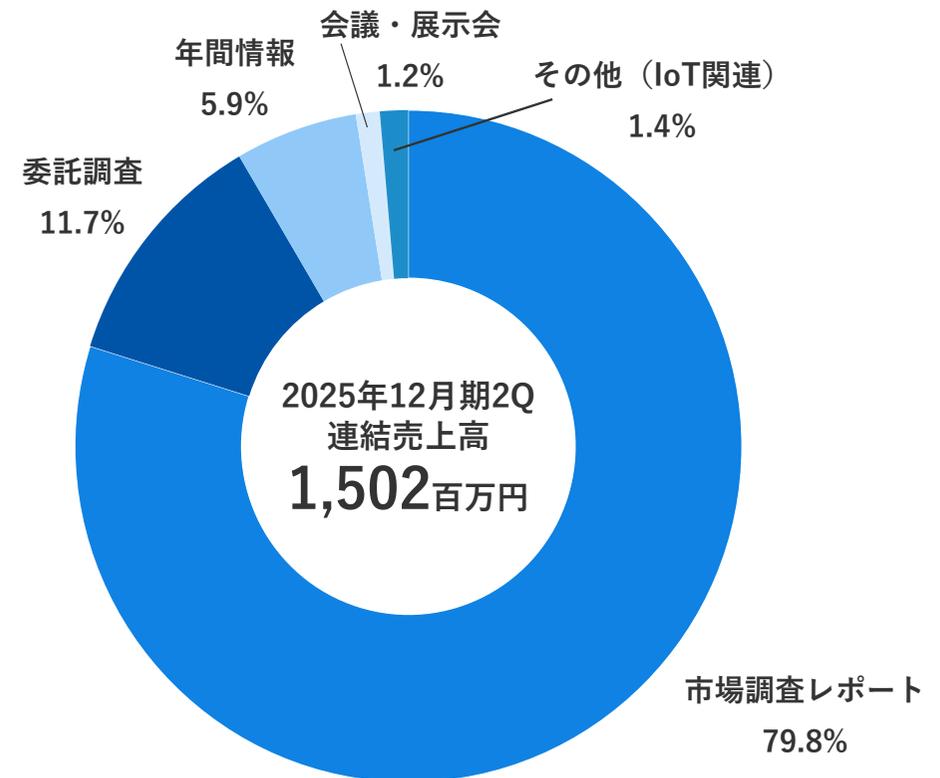
■ 当社事業について

市場調査レポート販売を主力とする「市場・技術動向に関する情報提供事業」に加え、連結子会社の株式会社ギブテックにて「その他（IoT関連）事業」を展開

■ 市場・技術動向に関する情報提供事業

- 市場調査レポート
- 委託調査
- 年間情報サービス
- 国際会議・展示会

■ その他（IoT関連）事業



事業系統図

顧客から受注後⇒仕入先に発注となるため、在庫を持たないビジネスモデル



アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス
5. 株式会社ギブテック

2025年12月期2Q 連結決算 損益計算書サマリー

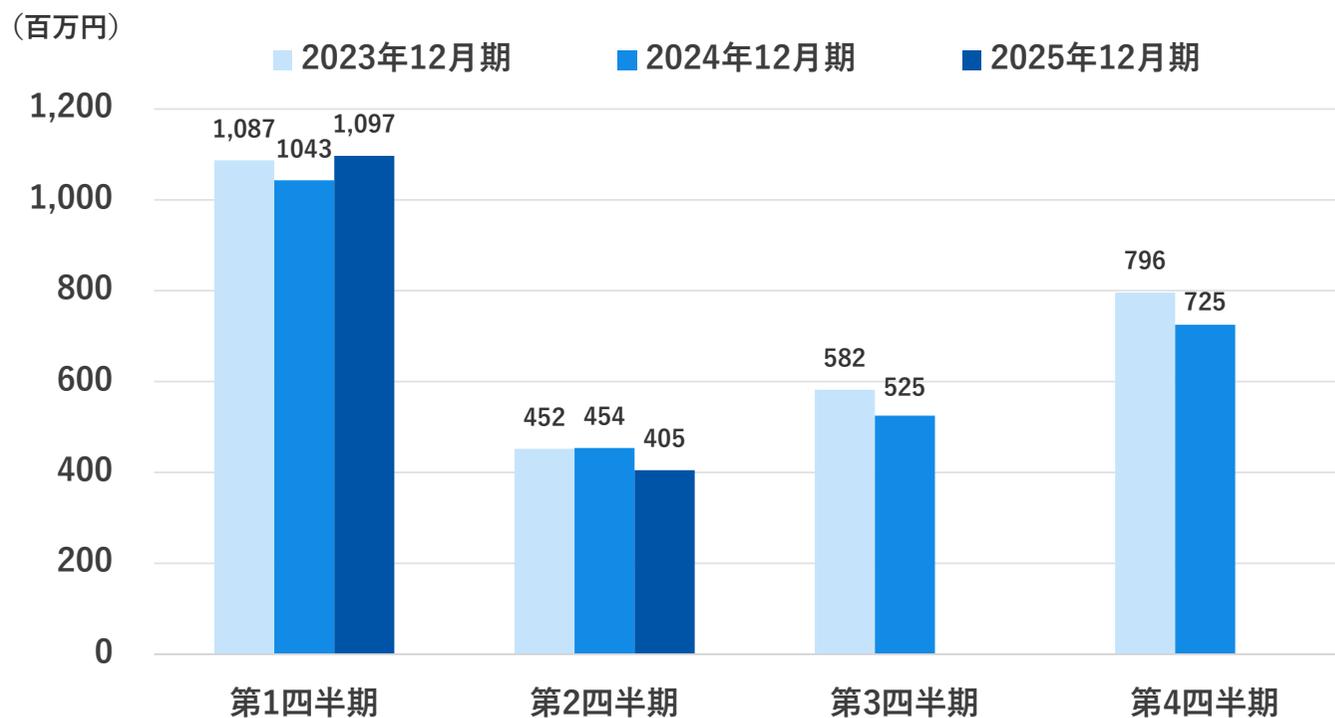
前年同期と比較して、売上高：0.3%増、売上総利益：0.3%増、営業利益：7.8%減

(百万円)	2024年12月期 第2四半期累計期間		2025年12月期 第2四半期累計期間		前年同期比 増減	対前年同期 増減率
		売上高比 (%)		売上高比 (%)		
売上高	1,497	—	1,502	—	5	+0.3%
売上総利益	717	47.9	718	47.8	1	+0.3%
販売費 及び一般管理費	427	28.6	453	30.2	25	+6.5%
営業利益	289	19.3	265	17.6	▲24	▲7.8%
経常利益	320	21.4	255	17.0	▲65	▲18.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	214	14.3	172	11.5	▲41	▲18.9%

四半期ごとの売上高推移

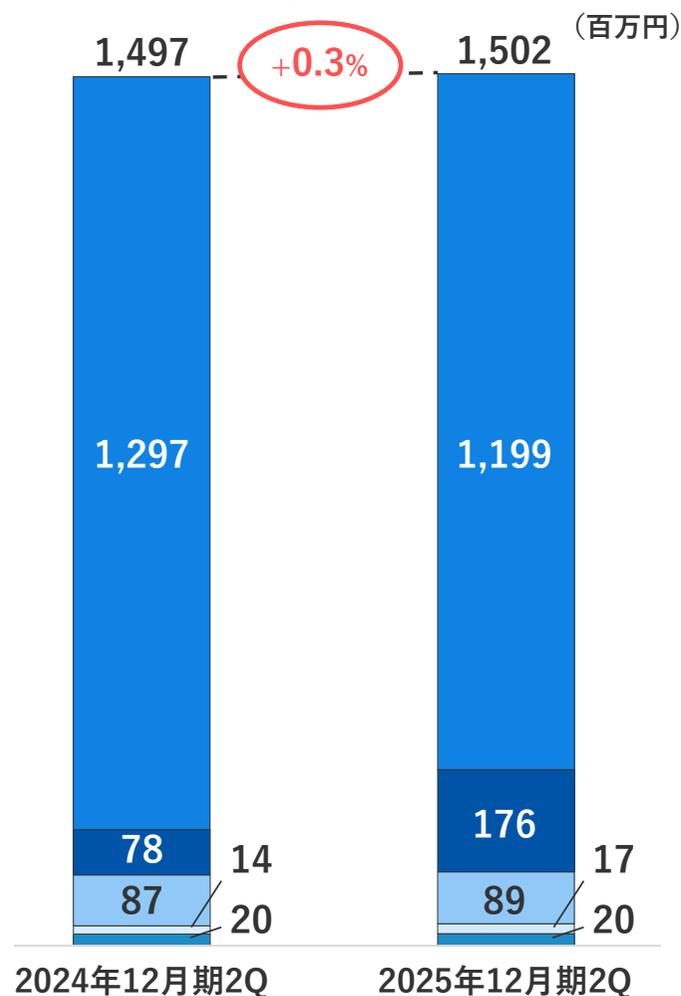
第1四半期は前年同期比増収も、第2四半期は前年同期比約1割減収

■ 四半期ごとの売上高 (vs 過去2期間)



各事業の状況

■ 事業区分別売上高



市場調査
レポート

第1四半期は受注好調も、4月の米国関税に関する報道以降、ウェブサイトからの問合せ数が減少。円高による日本円建ての単価下落も重なり、売上高は前年同期を**7.6%**下回った。

委託調査

前期末に受注した高額の調査案件の納品に加え、委託調査事業の専任営業担当者による顧客獲得活動が奏功し、第2四半期以降もコンスタントに調査案件を獲得。その結果、売上高は前年同期を**125.1%**上回った。

年間情報
サービス

受注件数は前年同期比微増、売上高は前年同期を**2.0%**上回る結果となった。

国際会議
・展示会

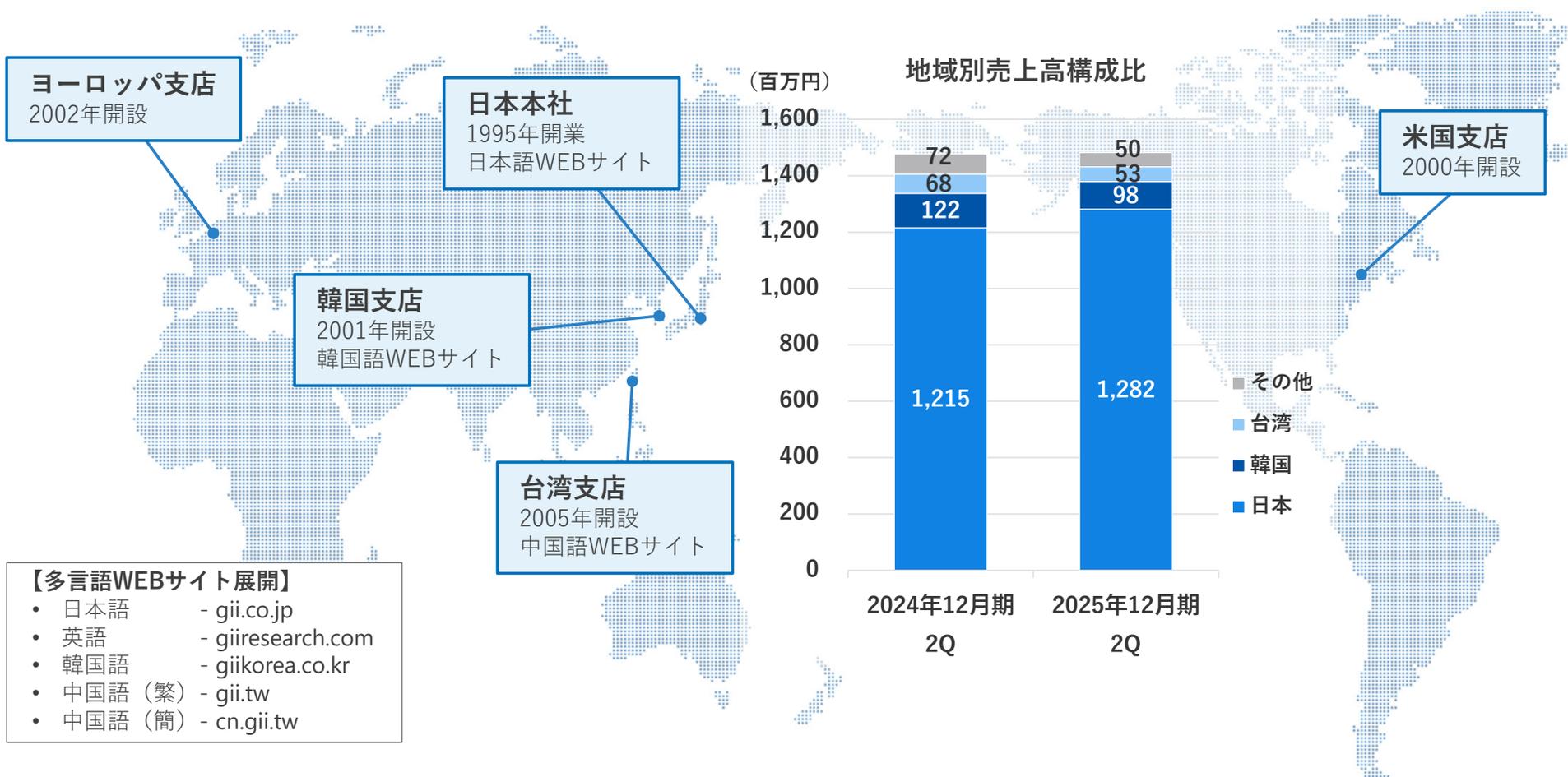
以前から売れ筋のバイオ、AI関連の会議の受注が増加し、売上高は前年同期を**22.2%**上回った。

その他
(IoT関連)

自治体向けのスマートシティ案件の納入が重なり、前年同期比僅かに増収。下期は、複数の展示会にて展示会DXツールの導入が決まっており、前年からの大幅増収を見込む。

拠点別売上高構成

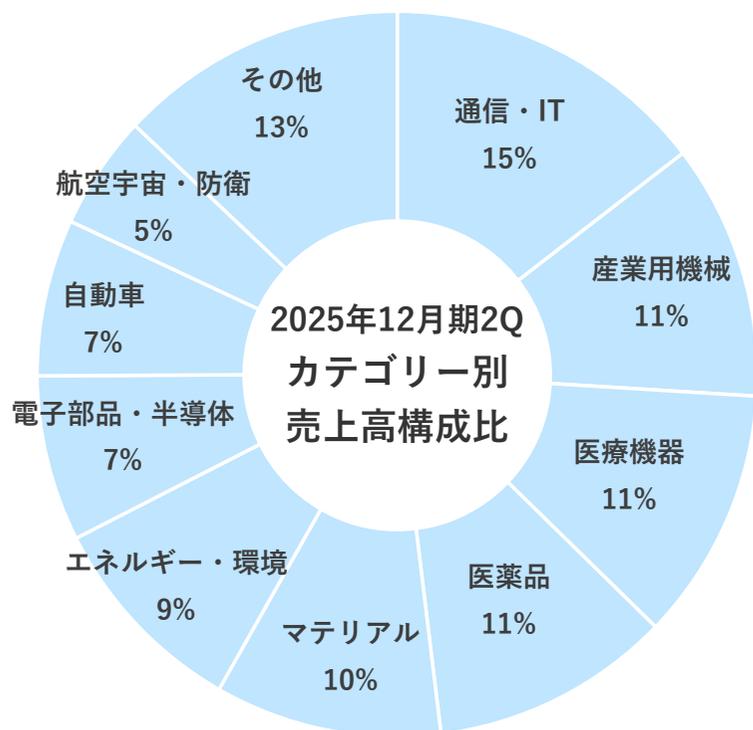
日本国内は前年同期比5%以上増収も、海外は各国の国内景気低迷等の影響を受け、不調



カテゴリー別売上高構成

「通信・IT」「産業用機械」が好調、「マテリアル」は前期からシェアが低下

カテゴリー別売上高構成比及び調査トピック例

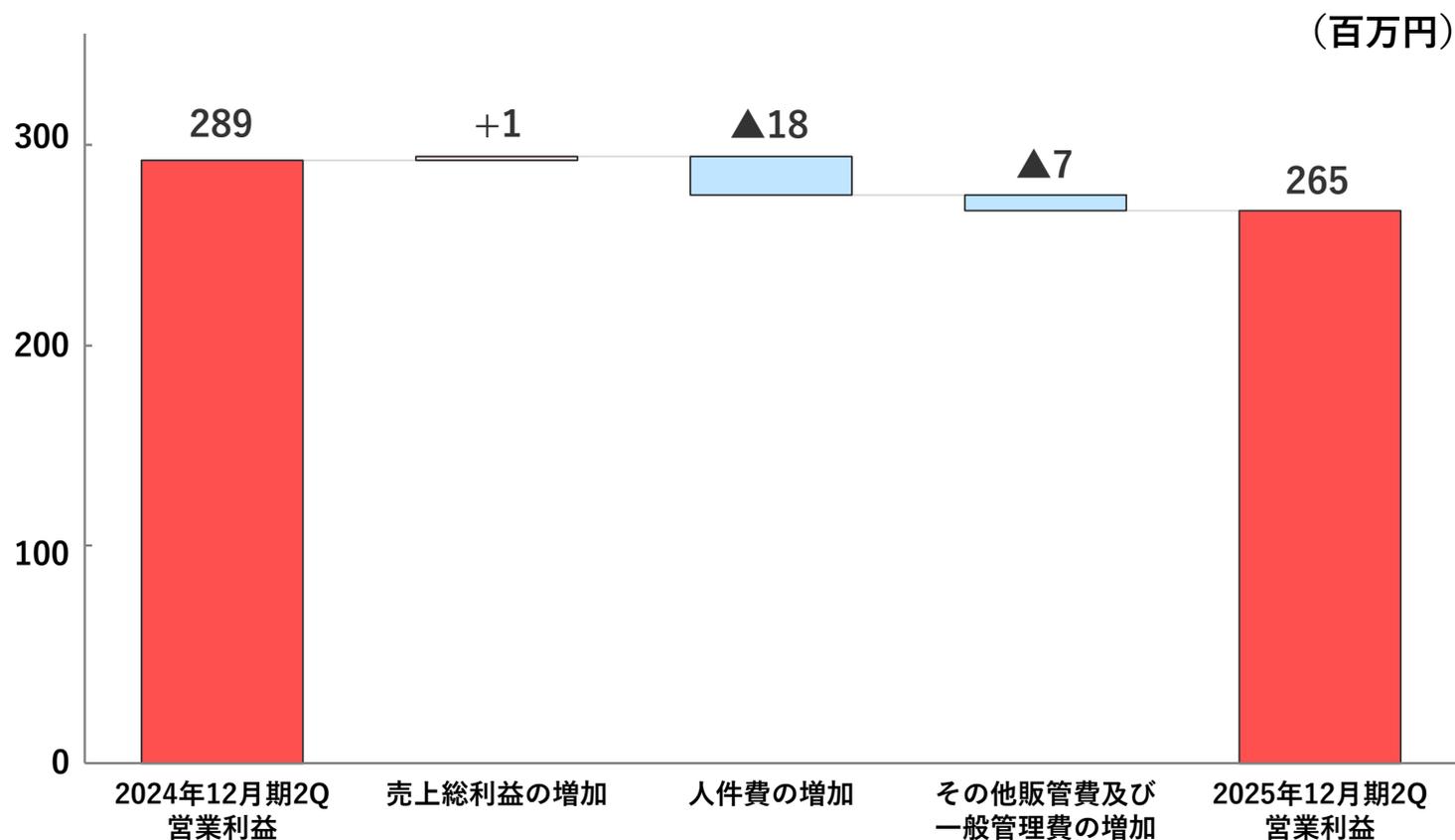


カテゴリー	調査トピック (一例)
通信・IT	生成AI、6G、データセンター、AIエージェント、IoT
産業用機械	ロボティクス、バーチャルPLC、マイクロ波加熱、電動モーター
医療機器	次世代シーケンス、グルコースモニター、がん分子診断
医薬品	OTC医薬品、mRNAワクチン、ゲノム編集、ジェネリック医薬品
マテリアル	メタマテリアル、バイオベース、炭素材料、フレキシブル印刷
エネルギー・環境	炭素回収・利用・貯留、LDES、水電解、小型風力発電
電子部品・半導体	量子センサー、半導体製造装置、GaN、SiC、半導体レーザー
自動車	MaaS、EVバッテリー、電動パワートレイン、自動運転、SDV
航空・宇宙	衛星打上げロケット、宇宙医学、eVTOL、宇宙デブリ監視・除去
一般消費財	無人店舗、宝飾品、機能性化粧品、高級腕時計、トラベルリテール
食料・飲料	有機野菜、培養肉、抹茶、食品フレーバー、缶入りワイン
インフラ	直流配電網、変圧器、水処理薬品、分散型水処理、上下水道
金融・保険	損害保険、バンキング暗号化、サイバー保険、ファイナンスリース

営業利益の増減要因

売上総利益は前年同期比僅かに増加した一方、将来に向けた人件費の増加をはじめとし、各種販管費の増加があり、営業利益は前年同期比減少

■ 営業利益の増減（前年同期比）



2025年12月期2Q 連結決算 貸借対照表

自己資本比率は77.9%となり、引き続き財務状況は健全

(百万円)	2024年12月期末	2025年12月期 第2四半期末	前期末比 増減
資産合計	3,164	3,273	109
流動資産 (うち 現金及び預金)	3,067 (2,669)	3,161 (2,895)	94 (225)
固定資産	97	112	14
負債合計	695	723	28
流動負債	390	410	19
固定負債	305	313	8
純資産合計	2,469	2,550	80
自己資本比率	78.0%	77.9%	—

アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス
5. 株式会社ギブテック

2025年12月期 通期業績見通し

通期業績予想は据え置き

前年対比売上高+10.0%、営業利益+9.4%、年間配当金額は60.00円を予定

(百万円)	2024年12月期		2025年12月期 (予)		前期比 増減	対前期 増減率
		利益率 (%)		利益率 (%)		
売上高	2,749	—	3,025	—	276	+10.0%
営業利益	437	15.9	479	15.8	42	+9.4%
経常利益	465	16.9	480	15.9	15	+3.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	315	11.5	330	10.9	15	+4.8%
一株当たり配当金 (円)	60.00	—	60.00 ^(※)	—	—	—

※中間配当：30.00円、期末配当：30.00円

2025年12月期 事業区分別見通し

セグメント・事業区分		要 因	売上高 前期比見通し
市場・技術動向に 関する情報提供事業	市場調査レポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ウェブサイト掲載商品ラインナップの拡大による集客強化 ✓ 高いサービスレベルにより顧客との関係を強化⇒継続顧客へ ✓ 多様なニーズに対応できる仕入先調査会社の開拓 	+9.2% (+249百万円)
	委託調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 専任担当者による手厚い顧客サポートにより継続案件を狙う ✓ レポート購入顧客を高単価の委託調査案件へと誘導 	
	年間情報サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AIを活用した市場情報プラットフォーム商品の拡販 	
	国際会議・展示会事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロモーション拡大により自社ウェブサイトへの集客強化 ✓ 参加者数が戻りつつある国内開催会議への注力 (10月に京都でバイオ関連会議) ✓ 提携イベント会社及び取り扱い商品を拡大 	
その他 (IoT関連) 事業		<p>【IoTデバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 地方自治体によるスマートシティ案件の受注増加 ✓ 大口顧客であるTOPPAN株式会社への製品納入継続 <p>【展示会DXツール「AiMeet」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 導入済み顧客の他展示会への展開 ✓ 下期複数の展示会への導入予定 (7月開催5展示会に導入 (開示済み)) 	+58.3% (+27百万円)

株主還元

中長期的な持続的成長及び経営環境の変化に耐えうる経営基盤充実のための内部留保とのバランスを考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする

配当はDOE 6%以上、配当性向40%以上を維持、前期より導入した株主優待制度も継続

■ 配当金

	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)
一株あたり配当金 (円)	60.00	60.00
配当性向	56%	55%

■ 株主優待

保有株式数	優待内容
200株以上	QUOカード 2,000円分

アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. **中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス**
5. 株式会社ギブテック

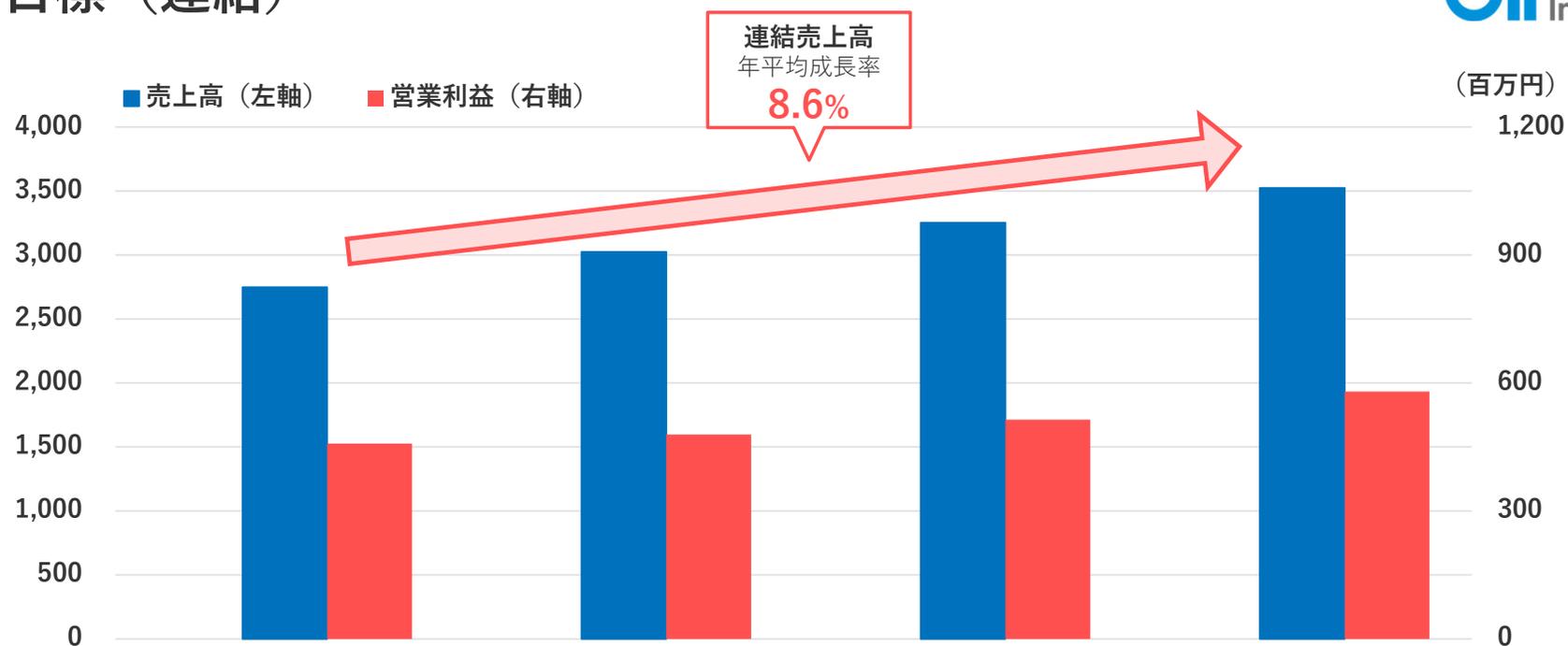
GII Vision 2027 テーマ

『総合市場情報プロバイダーへの進化』

当社の経営理念である「最適な市場情報をタイムリーに提供し、社会の発展に貢献する」という使命に基づき、多様化する顧客の情報ニーズに全方位的に対応できる総合市場情報プロバイダーへと進化することを目指す。

当社の主要事業である市場調査レポートの販売事業を更に強化すると共に、ニッチ化・多様化する顧客の情報ニーズに応えるべく、委託調査事業、AIを利用した市場情報プラットフォームの販売を推し進め、事業モデルの転換を図る。

経営数値目標（連結）



(百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 計画	2026年12月期 計画	2027年12月期 計画
売上高	2,749	3,025	3,253	3,524
営業利益	437	479	514	580
営業利益率	15.9%	15.8%	15.8%	16.4%
一株あたり配当金 (円)	60.00	60.00	60.00	60.00
配当性向	56%	55%	50%	43%

GII Vision 2027 重点施策

『総合市場情報プロバイダーへの進化』を目指し、下記の重点施策に取り組む

委託調査事業への注力

AI×市場調査商品の拡販

集客・顧客開拓力強化

AIによる社内データの活用促進

新規事業への投資

次世代を担う人材獲得・育成

子会社の利益貢献

『GII Vision 2027』 トピックス

➤ 委託調査事業への注力

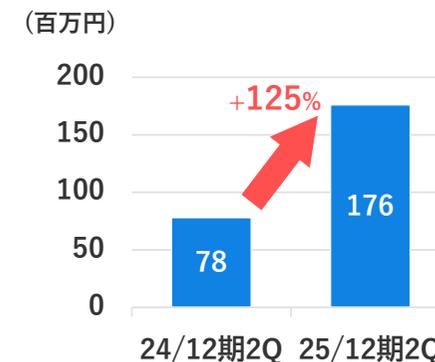
- 期初より大型調査案件の納品が続き、委託調査事業の売上高は前年同期比**2.2倍**に増加
- 4月に委託調査対応を専門に行う『**委託調査室**』を新設し、更なる受注拡大を見込む

➤ AI×市場調査商品の拡販

- EC多店舗展開事業者様向け在庫管理システムの**AIシステム開発 (Rover)** 案件受託
- AIプラットフォーム『Rover』の無料トライアルユーザーが**200名**を越える (2025年8月時点)

➤ 集客・顧客開拓力強化

- 今期、仕入先調査会社共催セミナー・ウェビナーを**3件**開催 (2025年8月時点)
各回50~100名程の顧客を招待し、9割以上の顧客が“内容に満足”

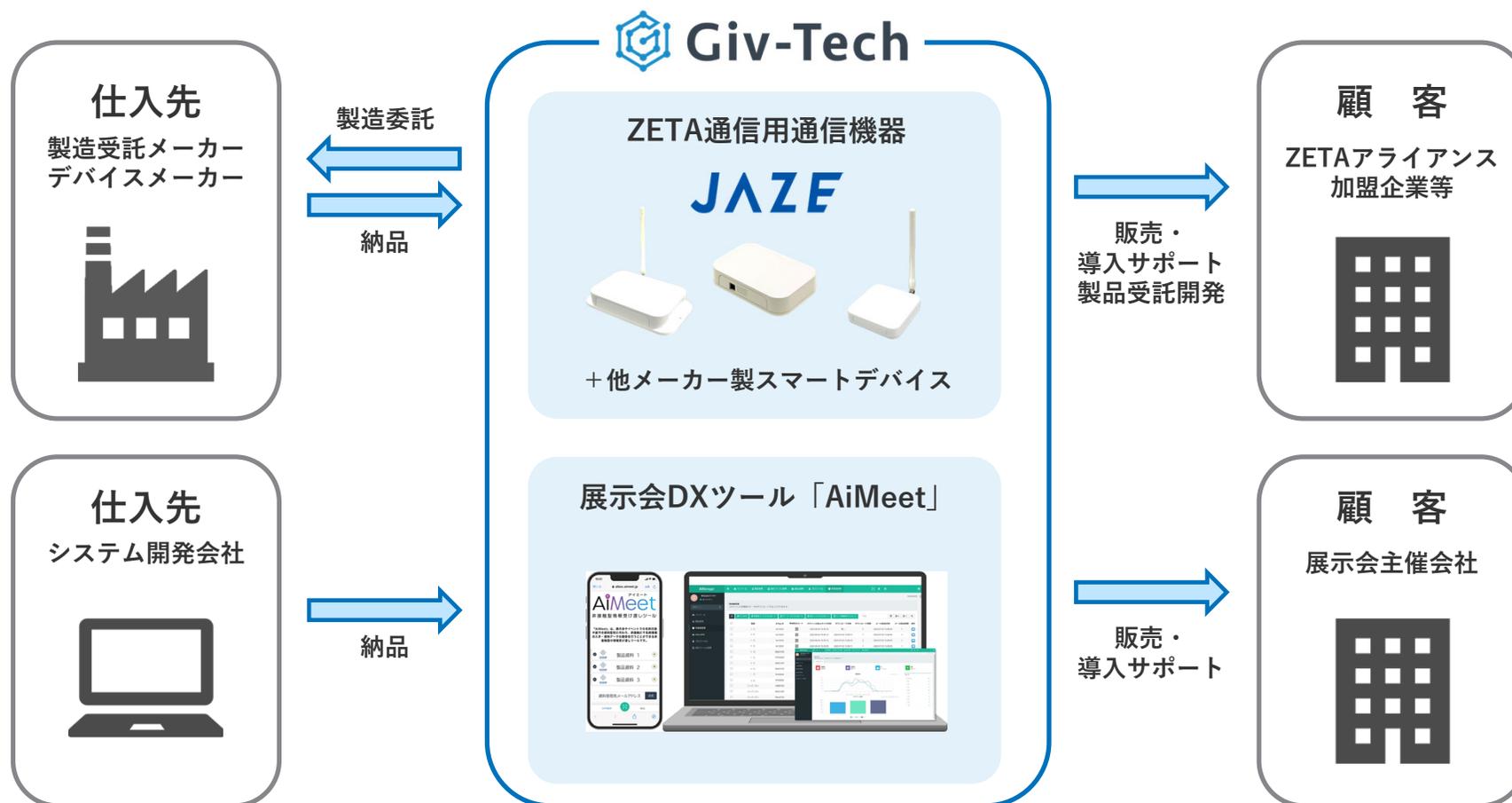


アジェンダ

1. 会社概要
2. 2025年12月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年12月期 業績見通し
4. 中期経営計画『GII Vision 2027』トピックス
5. 株式会社ギブテック

事業系統図

ZETA通信用自社ブランド「JAZE」製品の製造・販売と他社製ZETA通信デバイスの販売、
展示会DXツール「AiMeet」の販売の2つを主な事業とする



LPWA通信機器の販売

IoTネットワーク内で利用される低消費電力広域無線通信 (LPWA) の通信機器を販売
自治体によるスマートシティ化案件の需要が増加中

■ ZETA通信 (LPWA) の活用例

✓ スマートビルディング

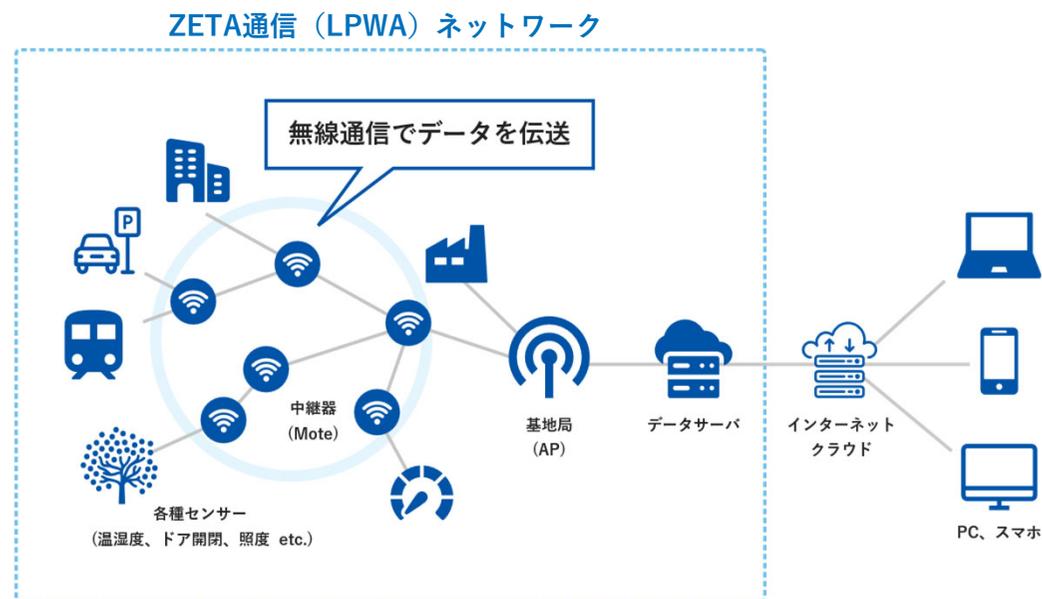
温度・湿度、漏水検知、ドア開閉センサー等からのデータをZETA通信で受信し、遠隔制御が可能。ビル管理、警備に掛かる**コスト削減**。

✓ スマートファクトリー

工場内の各種計装類からのデータをZETA通信でリアルタイム受信。人員削減による**コスト削減**やリアルタイム管理による**生産効率改善**。

✓ スマート防災

河川の水位等を遠隔地からリアルタイムに監視可能。自然災害の兆候をいち早く察知することで、**被害を未然防止**。



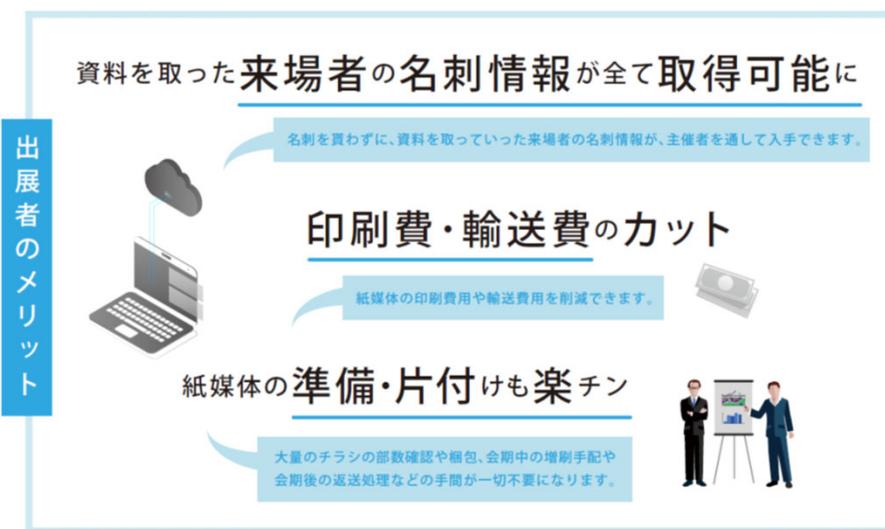
非接触型情報受け渡しツール「AiMeet」の販売

展示会、講演会におけるペーパーレス化によるコストダウン、DXによる業務効率化を同時に実現し、環境に配慮した展示会やイベントの開催を後押し

下期複数の展示会の導入予定



- | 来場者向けウェブサイト AiVisitor にアクセス | 出展者向けウェブサイト AiManager にアクセス |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ☑ 非接触で資料を入手 ☑ ペーパーレスなのでエコで手軽 ☑ 資料の確認・保管・共有が簡単 ☑ 他言語対応! 国際展示会でも安心 | <ul style="list-style-type: none"> ☑ スキャンでリード獲得・リアルタイム共有 ☑ 情報共有ですぐにアプローチ可能 ☑ 来場者情報などの数値を可視化 ☑ 経費削減・エコで社会貢献 |

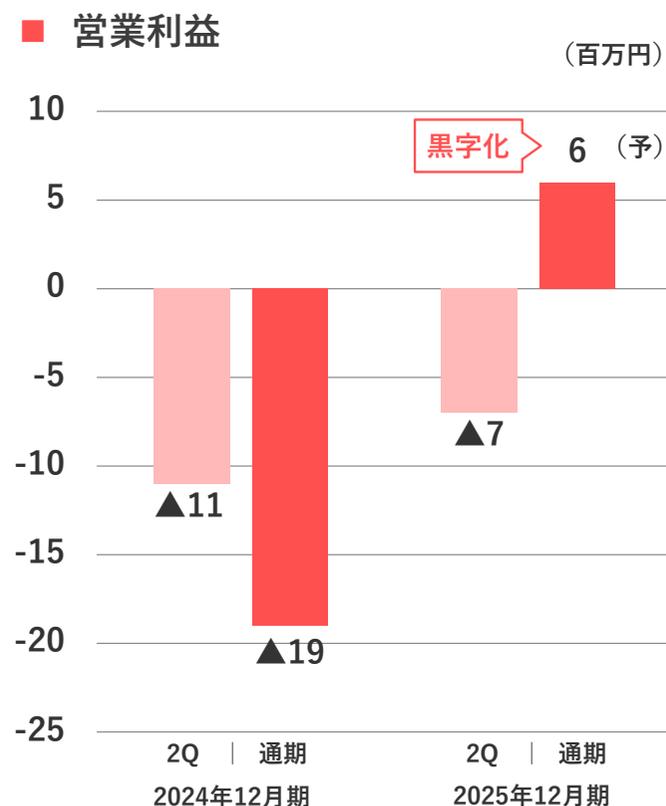
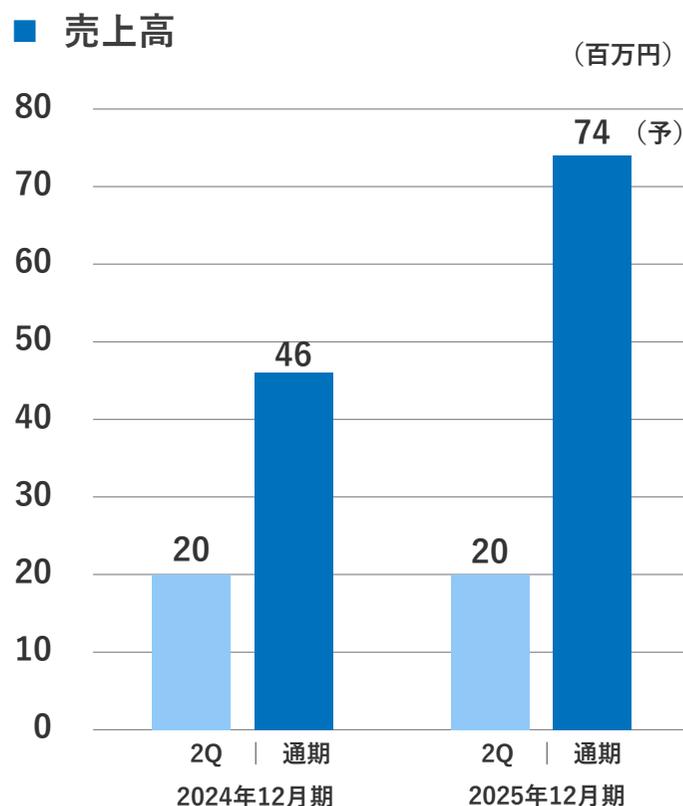


- 来場者のメリット
- 非接触で資料を入手
- QRコードをタッチするだけで資料データを取得できます。
- すぐに情報を転送&共有
- 荷物にならず手軽
- 重くてかさばる紙のパンフレットはなくなり、チラシをPDF化する手間もなくなります。
- 入手した資料データはスマートフォンからメールで転送が可能。同僚や上司への連絡にも。
-

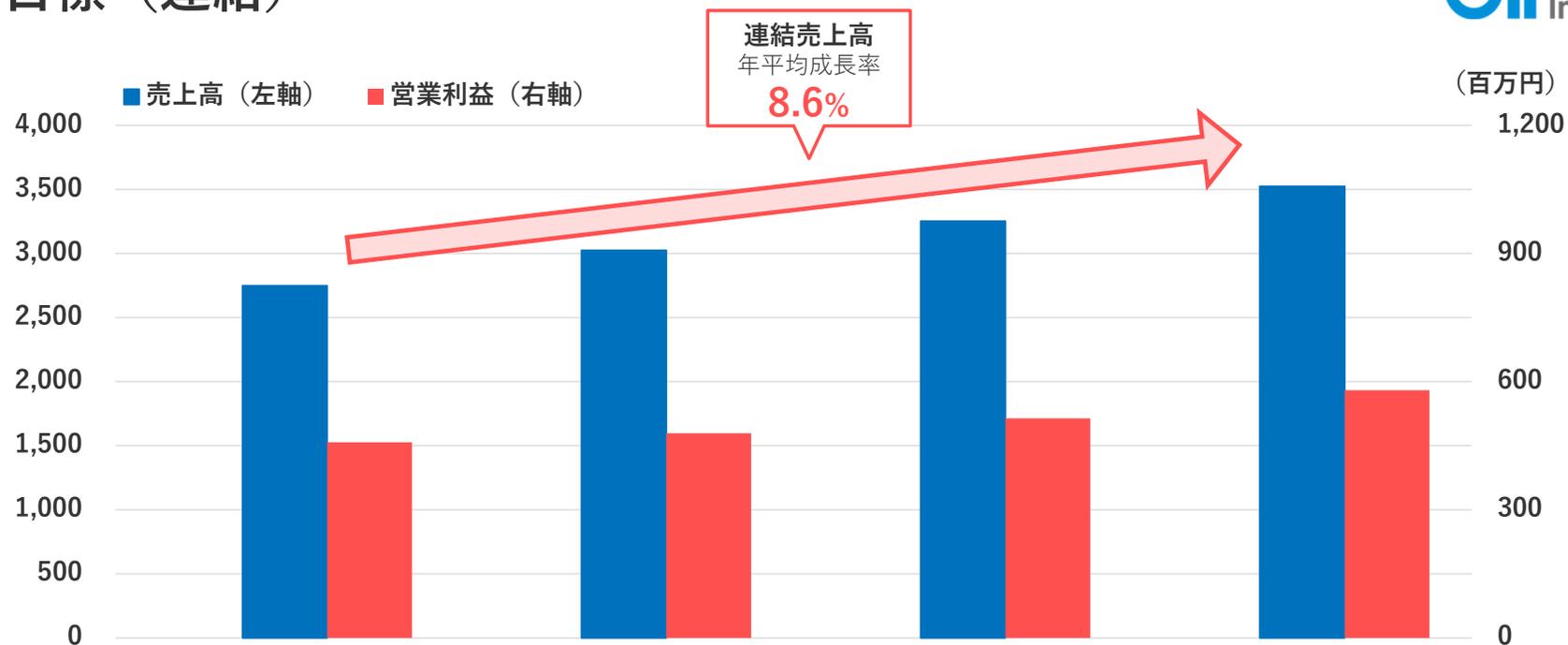
2025年12月期2Q 売上高・営業利益

上期実績は前年同期比増収・増益（損失減）

下期に複数の展示会でのDXツール納入が決まっております、当初黒字化計画を据え置き



経営数値目標（連結）



(百万円)	2024年12月期 実績	2025年12月期 計画	2026年12月期 計画	2027年12月期 計画
売上高	2,749	3,025	3,253	3,524
営業利益	437	479	514	580
営業利益率	15.9%	15.8%	15.8%	16.4%
一株あたり配当金 (円)	60.00	60.00	60.00	60.00
配当性向	56%	55%	50%	43%

■ 本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料発表当日現在で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社グローバルインフォメーション 管理部 IR担当

E-mail: cpd@corporate.gii.co.jp

IRサイト: <https://corporate.gii.co.jp>